

# 神奈川県第1回5年公募公債 (グリーンボンド) レポーティング

11 住み続けられる  
まちづくりを



13 気候変動に  
具体的な対策を



15 陸の豊かさも  
守ろう



# 1 神奈川県第1回公募公債(グリーンボンド)発行概要

銘柄名称	神奈川県第1回5年公募公債(グリーンボンド)
年限	5年(満期一括償還)
発行額	50億円
発行利率	0.020%
条件決定日	令和2年10月23日
発行日	令和2年11月4日
引受会社	SMBC日興証券株式会社(事務) みずほ証券株式会社
適合性評価	第三者機関である株式会社格付投資情報センター(R&I)の評価により、 ・国債資本市場協会(ICMA)によるグリーンボンド原則2018 及び ・環境省グリーンボンドガイドライン2020年版 に適合していることについて、確認を受けています。

# (参考) 投資表明の状況

## 投資表明投資家一覧(令和3年12月1日時点 40件)

(五十音順)

アセットマネジメント One 株式会社	一般社団法人 かながわ土地建物保 全協会	一般財団法人 シルクセンター国際 貿易観光会館	日本コープ共済生活 協同組合連合会	山北町
学校法人 岩崎学園	川崎信用金庫	吹田市	平塚信用金庫	生活協同組合 ユーコープ
大井町	独立行政法人 環境再生保全機構	セレサ川崎 農業協同組合	株式会社フリーデン	横浜エフエム放送 株式会社
株式会社 神奈川銀行	株式会社 サカタのタネ	中栄信用金庫	馬淵建設 株式会社	株式会社 横浜銀行
神奈川県厚木市	さがみ信用金庫	独立行政法人 中小企業基盤整備 機構	株式会社三井住友 銀行	横浜市 信用保証協会
一般財団法人 神奈川県教育会館	公益財団法人 自動車リサイクル促 進センター	中南信用金庫	三井住友トラスト・ア セットマネジメント 株式会社	横浜信用金庫
一般財団法人 神奈川県厚生福利 振興会	株式会社 十六銀行	長野県	株式会社 三菱UFJ銀行	一般財団法人 横浜総合医学振興 財団
かながわ信用金庫	湘南信用金庫	二宮町	公益財団法人 宮ヶ瀬ダム周辺振興 財団	株式会社 琉球銀行

# 2 神奈川県第1回公募公債(グリーンボンド)の充当事業について

## 【充当状況】

神奈川県第1回公募公債(グリーンボンド)については、**令和2年度に実施をした以下の事業に全額充当しております**。詳細につきましては、次ページ以降をご覧ください。

分類	事業内容	充当額 (充当割合)
河川の緊急対応	氾濫の危険性が特に高い区間の堆積土砂の撤去や樹木の伐採を重点的に実施	560百万円 (11.2%)
	嵩上げコンクリート等の緊急対応工事を実施	159百万円 (3.2%)
遊水地や流路のボトルネック箇所等の整備	遊水地の整備や流路のボトルネック箇所の鉄道橋架替等を重点的、集中的に実施	2,896百万円 (57.9%)
海岸保全施設等の整備	高潮や高波で家屋などに被害が発生した海岸について、優先的に護岸等の海岸保全施設を整備	96百万円 (1.9%)
土砂災害防止施設の整備	地域防災計画に位置付けられた避難路の被害を受ける恐れのある箇所などについて、砂防堰堤等の整備を重点的に実施	380百万円 (7.6%)
	急傾斜地の土砂災害警戒区域のうち、要配慮者利用施設のある箇所や過去にがけ崩れがあった箇所など、早期に対策を実施すべき箇所から重点的に整備	909百万円 (18.2%)
合 計		5,000百万円 (100%)

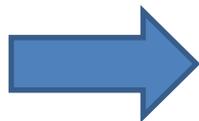
### 3 緊急に実施することで被害を最小化するハード対策(河川の緊急対応)

対象事業		アウトプット (令和2年度)	環境改善効果	令和2年度 事業費
河川改修 事業費	令和元年の台風第19号により、新たに土砂が堆積する等、氾濫の危険性が特に高い区間等について、堆積土砂の撤去や樹木の伐採を重点的に実施する。 (相模川、酒匂川、金目川など)	<p>《実施箇所》 相模川、酒匂川、金目川など 河床掘削・樹木伐採 11箇所</p> <p>(うち、事業完了箇所) 相模川、酒匂川、金目川など 6河川6箇所</p>		<p>2年度事業費 ⇒1,291百万円</p> <p>グリーンボンド充当額 ⇒174百万円 (充当割合:3.5%)</p>
河川維持 改修 事業費	令和元年の台風第19号で溢水した箇所や常時土のうが設置されている箇所などについて、嵩上げコンクリート等の緊急対応工事を実施する。 (山王川、目久尻川、境川など)	<p>【コンクリート嵩上げ】 《実施箇所》 山王川、目久尻川、境川 3箇所</p> <p>(うち、事業完了箇所) 同上</p> <p>【緊急堤防整備】 《実施箇所》 歌川、金目川、酒匂川など4箇所</p> <p>(うち、事業完了箇所) 同上</p> <p>など</p>	<p>嵩上げコンクリート等の緊急対応工事や増水時の被災の未然防止対策工事を実施した箇所数</p> <p>河床掘削・樹木伐採 30河川48箇所</p> <p>嵩上げコンクリート等の緊急対応工事等 7河川7箇所</p> <p>老朽化部分の緊急補修工事 7河川8箇所</p>	<p>2年度事業費 ⇒460百万円</p> <p>グリーンボンド充当額 ⇒159百万円 (充当割合:3.2%)</p>
河川 修繕費	令和元年の台風第19号により、新たに土砂が堆積する等、氾濫の危険性が特に高い区間等について、堆積土砂の撤去や樹木の伐採を重点的に実施する。 (相模川、酒匂川、金目川など)	<p>《実施箇所》 相模川、酒匂川、金目川など 河床掘削・樹木伐採 70箇所</p> <p>(うち、事業完了箇所) 相模川、酒匂川、金目川など 24河川42箇所 など</p>		<p>2年度事業費 ⇒2,837百万円</p> <p>グリーンボンド充当額 ⇒386百万円 (充当割合:7.7%)</p>

# 【河川の緊急対応：実施例】

## ① 河床掘削（金目川）

施工前



施工後



## ② コンクリート嵩上（山王川）

施工前



施工後



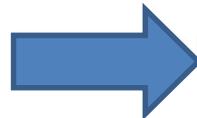
# 4 中長期的な視点で取組みを加速させるハード対策 ①

## (1) 遊水地や流路のボトルネック箇所等の整備

対象事業		アウトプット (令和2年度)	環境改善効果	令和2年度 事業費
河川 改修 事業費	遊水地の整備や流路のボトルネック箇所の鉄道橋架替等、事業着手中の全ての大規模事業について、重点的、集中的に実施し、計画を5年間前倒しして、概ね10年以内での効果の発現を目指す。 (引地川、境川、山王川、柏尾川など)	<b>【遊水地整備】</b> ≪実施箇所≫ 引地川、境川、柏尾川など 6箇所  (うち、事業完了箇所) 引地川下土棚遊水地	浸水面積、浸水区域内人口及び想定被害額の変化  浸水面積の 約50 ha減  浸水区域内人口の 約1,100人減  想定被害額の 約70億円減	2年度事業費 ⇒5,639百万円  グリーンボンド 充当額 ⇒2,896百万円 (充当割合:57.9%)
		<b>【鉄道橋架替】</b> ≪実施箇所≫ 山王川、境川 2箇所	注)令和2年度に完成した遊水地のほか、上下流の河道整備を含めた事業区間の完了後に、計画の対象規模の洪水が発生した場合の整備効果を示す。	

# 【遊水地整備：実施例】

## 引地川下土棚遊水地



# 4 中長期的な視点で取組みを加速させるハード対策 ②

## (2) 海岸保全施設の整備

	対象事業	アウトプット (令和2年度)	環境改善効果	令和2年度 事業費
海岸 高潮 対策 事業費	堤防高や消波機能等が不足する海岸のうち、近年、高潮や高波で後背地の家屋などに被害が発生した海岸について、優先的に護岸等の海岸保全施設を整備する。 (小田原海岸、葉山海岸など)	【海岸保全施設の整備】 《実施箇所》 小田原海岸、葉山海岸など護岸等の整備 4海岸	県の海岸保全基本計画に基づく高潮や津波対策として護岸等の海岸保全施設を整備する海岸数 4海岸  ※令和3年度も引き続き整備中。	2年度事業費 ⇒743百万円  グリーンボンド 充当額 ⇒96百万円 (充当割合:1.9%)

# 【海岸保全施設の整備：実施例】

## ① 湯河原海岸

施工前

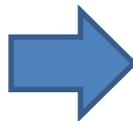


施工後



## ② 葉山海岸

施工前



施工後



# 4 中長期的な視点で取組みを加速させるハード対策 ③

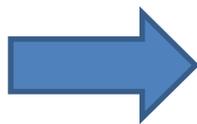
## (3) 土砂災害防止施設の整備 ①

対象事業		アウトプット (令和2年度)	環境改善効果	令和2年度 事業費
通常砂防 事業費	地域防災計画に位置付けられた避難路の被害を受ける恐れのある箇所などについて、砂防堰堤等の整備を重点的に実施する。	【砂防堰堤工等】 ≪実施箇所≫ 新崎川(湯河原町)、山岸沢(小田原市) など 29箇所  (うち、事業完了箇所) 新崎川(湯河原町)など 13箇所	台風・豪雨等での土砂災害による被害が防止される地域数  7市町	2年度事業費 ⇒922百万円  グリーンボンド 充当額 ⇒380百万円 (充当割合:7.6%)
防災砂防 事業費		【溪流保全工等】 ≪実施箇所≫ 下山川(葉山町)など 23箇所  (うち、事業完了箇所) 下山川(葉山町)など 4箇所	台風・豪雨等での土砂災害による被害が防止される地域数  4市町	
砂防施設 改良費		【護岸補修工等】 ≪実施箇所≫ 水無川(秦野市)など 10箇所  (うち、事業完了箇所) 水無川(秦野市)など 10箇所	既設砂防施設の補強・改良工事を実施する地域数  6市町	
地すべり 対策 事業費		【アンカー工等】 ≪実施箇所≫ 早雲山(箱根町)など 6箇所  (うち、事業完了箇所) 早雲山(箱根町)など 3箇所	台風・豪雨等での土砂災害による被害が防止される地域数  4市町	

# 【土砂災害防止施設の整備：実施例】

## ① 砂防堰堤工（山岸沢）

施工前

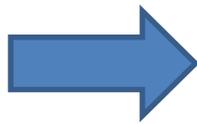


施工後



## ② 溪流保全工（下山川）

施工前



施工後



# 4 中長期的な視点で取組みを加速させるハード対策 ④

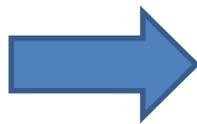
## (4) 土砂災害防止施設の整備 ②

対象事業		アウトプット (令和2年度)	環境改善効果	令和2年度 事業費
急傾斜地 崩壊対策 事業費	急傾斜地の土砂災害警戒区域のうち、要配慮者利用施設のある箇所や過去にがけ崩れがあった箇所など、早期に対策を実施すべき箇所から重点的に整備する。 (大滝町地区(横須賀市)、牧野上ノ久保地区(相模原市)など)	<b>【法面工等】</b> ≪実施箇所≫ 大滝町地区(横須賀市)など 189箇所  (うち、事業完了箇所) 大滝町地区(横須賀市)など 95箇所	台風・豪雨等での土砂災害による被害が防止される地域数  20市町	2年度事業費 ⇒2,681百万円
急傾斜地 施設 改良費		<b>【法面工等】</b> ≪実施箇所≫ 上山町地区(横浜市緑区)など 12箇所  (うち、事業完了箇所) 上山町地区(横浜市緑区)など 12箇所	既存急傾斜地崩壊防止施設等の補強・改良工事を実施する地域数  7市町	グリーンボンド 充当額 ⇒909百万円 (充当割合:18.2%)

# 【急傾斜地崩壊防止施設の整備：実施例】

松見町（横浜市神奈川区）

施工前



施工後

